

水戸赤十字病院広報誌

2018 / 1 VOL. 10

虹

ご自由にお持ち下さい
Take Free

虹の由来

患者の皆さま、地域の皆さまとの架け橋となるような広報誌を目指します。

〒310-0011
茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表)
<http://www.mito.jrc.or.jp>



病院外観

- 新年のご挨拶 満川元一院長
- 寄り道コラム ~file 2~
- 地域医療連携課よりお知らせ

- 診療科紹介10~産婦人科
- 緊急被ばく医療処置訓練実施



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

水戸赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

当院では医師不足と医師の高齢化により救急医療体制が充分ではありません。それを少しでも是正し地域の救急医療に貢献するため救急部を設立し救急医療充実を図る取り組みをはじめました。これを足掛かりに更に充実を図ってまいります。救急医療の充実には若い研修医たちの臨床研修の場としても重要です。救急部設立もあってか来年度の初期研修医の採用予定は4名と定員を満たしました。関係職員の努力に感謝いたします。

今年は診療費改定の年でもあります。マイナス改定が予想されており病院経営はますます困難が予想される中、医師の過剰労働が指摘されています。その是正勧告がなされる中、医師の時間外労働短縮を図りながら一般診療、救急医療を如何にして充実するかが問われております。そのためには紹介型外来を促進し、外来診療負担の軽減を図り、その余力を手術や救急医療に向けねばなりません。今年の診療費改定においては当院も選定療養費が患者さまの定額負担となる予想です。したがって患者さまはまず診療所を受診され、その病状に応じて当院への紹介状を持参して受診していただきたく存じます。また当院医療連携施設におかれましては当院への紹介、当院からの逆紹介に対しより一層のご協力をお願い申し上げます。



院長 満川 元一

診療科 紹介

産婦人科

当院の産婦人科についてご紹介いたします。

当科では「患者さんを第一に考えた、やさしく最良の医療の提供」をコンセプトに、妊娠分娩の管理、そして婦人科良性・初期悪性腫瘍まで広い範囲の診療を地域の病院と連携して対応できる体制を整えております。

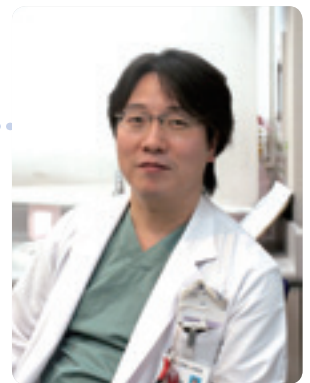
妊娠・出産希望の方に対しては総合病院であるメリットを最大限に活かし、様々な合併症を持つ妊婦さんにも対応できる体制を整えております。正常分娩の管理・介助はもとより、帝王切開や胎児・妊婦管理をはじめとする産科異常にも対応し、小児科と緊密に連携していることによる適切かつ迅速な新生児管理、また助産師外来や院内助産なども行っており、入院環境に関しては産科単独の病棟を備えています。医師研修や助産師学生・看護学生の臨床実習を多く受け入れ、人材育成にも努めています。

日本産婦人科内視鏡学会の技術認定医も在籍しており、婦人科疾患では良性疾患および初期の悪性疾患でも、腹腔鏡など内視鏡下手術の適応がある疾患に関しては、可能な限り低侵襲な方法で治療を行っております。手術件数は良性および悪性疾患、緊急疾患まで含め年間650件以上を行っており、県内でもトップクラスの件数です。特に全腹腔鏡下子宮全摘（TLH）、腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）など難易度の高い婦人科腹腔鏡をコンスタントに行っているのは県内では当院のみです。

全腹腔鏡下子宮全摘（TLH）は、子宮筋腫など今まで開腹で子宮全摘していた手術を、下腹部4点の5ミリ～約1センチの穴だけで行う方法で、術後の回復が早く、社会復帰も早く、美容的にも優れた手術です。

腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）は、骨盤臓器脱（いわゆる子宮脱・腔脱）など従来法で再発率の高かった手術を、腹腔鏡下でメッシュを用いて行う方法で、従来法と比べると格段に再発率が低く、症状の改善率が高い手術です。特に腹腔鏡下手術の最大のメリットは、骨盤底の複雑な血管走行、靭帯、神経、膜構造などが開腹手術とは比較にならないほど鮮明に把握できるため、術者の経験と技術が充足していればより安全な手術が可能になることです。

今後も地域の医療機関のご協力の下、ほぼ全ての婦人科疾患に常に対応できるよう体制を整え、地域の中核機関として機能していくように活動していきます。妊婦健診・出産希望の患者さん、腹腔鏡手術希望の患者さんがいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。



●第二産婦人科部長——
杉山 将樹

今年ももう間もなくすると、花粉症の季節がやってきます。毎年、花粉症の症状に悩まされている方も多いと思います。今回は花粉症の薬やその他の対策についてご紹介します。

<花粉症とは>

スギやヒノキ等の花粉が原因となり、くしゃみや鼻水等のアレルギー症状を起こす病気です。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。その他、目の痒みや涙目等を伴う場合もあります（季節性アレルギー性結膜炎）。

花粉が鼻や目に付着すると、粘膜にある肥満細胞と呼ばれる細胞からヒスタミンやロイコトリエン等の化学物質が放出されます。

これらの化学物質により神経や血管が刺激され、くしゃみや鼻水、鼻づまり等が引き起こされます。

<花粉症の薬>

花粉症に使われる薬には以下のようなものがあり、症状に応じて使い分けられます。

抗ヒスタミン薬等の内服薬による治療を花粉が飛散する前から開始することにより、症状を軽くすることができます。

- ・ 飲み薬（くしゃみ、鼻水、鼻づまり等を改善する）：抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、化学伝達物質遊離抑制薬
- ・ 点鼻薬（鼻づまり等を改善する）：鼻噴霧用ステロイド薬
- ・ 点眼薬（目の痒み等を抑える）：点眼用抗ヒスタミン薬、点眼用化学伝達物質遊離抑制薬、点眼用ステロイド薬

<その他の対策>

自分でできる対策としては以下の通り、体に花粉が入らないように注意することが基本になります。

- ・ 外出時はマスクやメガネを着用し、上着は表面がツルツルした素材の物を選ぶ
- ・ 屋内に入る前に服や髪に付着した花粉を払い落とし、うがい・手洗い・洗顔をする
- ・ 花粉の飛散が多いときは窓や戸を閉め、布団を外で干さないようにする
- ・ 室内や寝具の掃除を励行する



● 薬剤師

菊池 志寿江



緊急被ばく医療処置訓練を実施しました



平成29年11月30日、茨城県や関係機関と合同で緊急被ばく医療処置訓練を行いました。

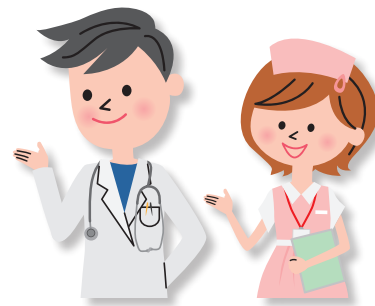
訓練は、原子力事業所内において事故があり、放射性物質による汚染を伴う傷病者が発生したとの想定で、原子力事業所での応急処置後、消防機関による搬送、医療機関における医療処置等の実施を目的に開催されました。

当院では汚染を伴う傷病者の受入れ準備として放射線管理区域の設定および養生、対応する職員の防護衣の着衣をすませ、傷病者の受け入れから汚染検査、除染、医療処置、また原子力事業者の放射線管理班の立ち会いのもと、防護衣の脱衣と医療処置室の養生撤去等一連の流れを実践しました。

当日は見学を含め関係者約50人が参加し、訓練終了後の講評では、「化学熱傷を伴う傷病者への対応について、今後さらに知識の習得と訓練が必要であると感じた。」「放射性物質という目に見えない事故による傷病者に対し改めて訓練の重要性を実感した。」といった意見が出されました。

今後も関係機関と協力のもと定期的に研修や訓練を重ね、原子力災害医療協力機関として有事の際に対応できるよう更なる体制強化に努めて参ります。

地域医療連携課



糖尿病外来の診療体制の変更について

平成30年2月より、当院糖尿病内科の常勤医が産休に入り不在となります。

今後は、外来診療は非常勤医師1名体制で継続予定となっておりますが、急性疾患の入院治療等が必要な患者さまへの対応が困難になることから、地域の医療機関と連携し、他病院へご紹介させていただきます。地域の先生方および患者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ホームページへの受診予約申込書書式の追加について (登録医の皆さまへ・再掲)

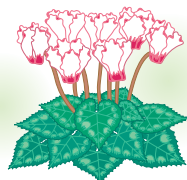
当院の受診予約申込書につきましては、ホームページよりダウンロード・印刷し、必要事項を手書きで記載する方式でしたが、今回パソコンで入力・印刷可能なエクセル形式もダウンロード出来るようになりました。今後とも、登録医の皆様のご意見を頂戴し、当院へ患者様を紹介しやすい環境を整えていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

就任のお知らせ

〈平成30年1月1日付〉

- 産婦人科 井口 陽 (いのくち よう)

上記の職員が新たに就任いたしました。
よろしくお願いいたします。



退職のお知らせ

〈平成29年10月31日付〉

- リハビリテーション科 山本 昌義

〈平成29年11月30日付〉

- 外科 大橋 真記

〈平成29年12月31日付〉

- 産婦人科 小暮 剛太

上記の職員が退職いたしました。大変お世話になりました。

紹介状持参のお願い

初診の方は紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いします。



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

— お持ちでない方は —

選定療養費**3,240円(税込)**が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。 病院長



紹介状(診療情報提供書)

検診結果表

をお持ちの方は

3番 紹介窓口に
ご提出ください。



ご予約の方も、紹介状、
検診結果表をお持ちの方は、
3番 紹介窓口
にご提出ください。

病院長